



こんにちは

白子の議会

です

第135号

令和2年2月20日

編集発行

千葉県白子町議会

☎0475(33)2169



▲ 中里海岸より望む朝日(令和2年1月4日撮影)

第4回 定例会

令和元年第4回定例会が12月12日と16日に開催されました。
一般質問は、3名の議員が町政をただしました。

- 3議員が一般質問 2~4ページ
- 各常任委員会構成 5ページ
- 補正予算等の質疑応答、
こんなことが決まりました 6~8ページ



一般質問

町政をきく

防災対策について

宗島 理仁 議員

議員 台風15号、19号の被害を受け、災害対策を行うための人件費や小・中学校施設の修繕費等で4千7百50万円の補正予算を専決処分しています。

この補正予算の内容を見ますと、町民の生活や行政機能が一日も早く復旧・復興し、安全・安心に暮らせるようにするためのものであり、住民の要望に迅速に応えることも重要であることから、議会の議決を経ない専決処分の手続がとられたかと思えます。

このようなことから、速やかな予算の執行をすべきかと思いますが、現在の執行状況及び進捗について伺います。



早急に対応

町長 白濁小、関小の雨漏りの修繕や、白子中の武道館の屋根の修繕、こういったものがあり、執行済みです。

また、保育所もそれぞれ大小ありますけれども被害を受けました。

子どもたちに関わることでですので、これも急急に処理をさせていただきました。

観光振興について

議員 台風15号以降、観光客が減少している我が町においても観光業振興が喫緊の課題であり、今回の補正予算に計上したことのみならず、復興するまでの継続的な観光支援策が必要かと思えますが、どのように考えているのか見解を伺います。

事業の再建と復旧に向けて

町長 台風15号による宿泊施設の損壊等がありました。

また、風評被害ということで、千葉県中が影響を受けており、観光客の落ち込みが相当激しいものがあるということ、また、その他関連業者も影響を受けておりますので、事業の復旧と再建のために今回の補正で1千万円の予算の提案をさせていただき、宿泊クーポンの配布を予定しております。

避難行動要支援者に対する対応について

議員 避難施設の整備において、町は避難所内への要配慮者用スペースの確保について考慮するとともに、要配慮者が避難生活を送るために必要となるトイレ、車椅子、簡易ベッド等の高齢者用備品

や障害特性に応じた障害者用備品、ミルク、哺乳瓶等の乳児用備品及び授乳に配慮するための設備、食物アレルギー対応食品などは、あらかじめ避難施設等への配備に努めると書かれています。現状、避難所や避難場所に必要な要配慮者用スペースの確保や簡易ベッドの備えはできているのか伺います。

順次検討していく

町長 避難所生活の長期化を考慮した際に、一番の課題が高齢者対応であり、平成28年から段階ボールベッドを導入し始めております。

避難行動要支援者に対する対応については、まだ不足している部分があり、順次検討していきます。



地域づくり活動の促進について

東海林 東治 議員

議員 町内各地域においては、数多くの難問を抱えております。

危険箇所の改善、通学路の防犯、生活交通難民、災害対策、独居見守り等の課題と、地域発展のためには地域づくりの主体をそこで生活する住民一人一人と位置づけ、地域づくりを進めることが重要と思います。

しかし、地域だけでは困難な場合があるので、地域住民と行政の協働による地域づくりを進め、地域の現状、資源の再認識、共有等をどのように取り組むか。一体感を生み出す為にも、また住民個々の意見等を反映する上でも、ワークショップを取り入れる必要があると思いますが、当局の見解を伺います。

協働のまちづくり

町長 白子町第5次総合計画では、第3節に参加と協働のまちづくりを掲げております。

地方創生の第2次総合戦略を策定する上で、多くの住民の声を取り入れることを第1番に掲げております。

しかし、住民が集うと要望だけになり、話が的確に進まない場合が多々ありますので、リーダーやコーディネーター等を取り入れたワークショップの開催をやるべきかと考えております。

地域サポーター促進

議員 多くの難問を抱えている地域に現場で支える地域サポーターの促進が不可欠であります。地域資源の活用促進を

積極的に進めると共に、ポイント制度を創設し、多くのボランティア参加者に呼びかけ、地域の活性化と安心して子育てできる地域促進を図る必要があると思います。

そして、高齢者も安心して暮らせる地域等に外部人材を登用し、地域おこし協力隊の活用を図り、行政と共に担い手となり、地域の為に公益的、共益的な取り組みを進める意向があるか伺います。



外部意見の重要性

町長 町にゆかりがある人、愛着のある人が、町や町民との繋がりや絆を深めることで、魅力あるまちづくりを目指して交流を促進し、移住定住に繋がることを願っております。

再接種助成について

議員 小児ガン患者は、薬物療法や放射線治療の影響により、定期接種で一旦獲得した抗体を失い、その後に、小児ガン特有の晩期合併症があると言われております。

晩期合併症は、年齢に伴って発症しやすく、治療後、数年後に症状が出るなどのことであります。後遺症の再発、晩期合併症等で長期に渡り、健康面の不安と、入院や治療後の長期のケアが必要であります。

経済的な負担が重く、生活が大変と伺っております。せめて小児ガン治療で抗体を失った子どもへワクチン再接種の助成制度を創設し、病と闘う子どもと家族へ支援の意向があるか伺います。

県へ助成制度の要望

町長 小児の定期接種は、11種類(水痘瘡、日本脳炎等)がありまして、全ての抗体を失った場

合、再接種費用は、長生郡管内で25万円程かかるかと聞いております。

白子町だけでなく、千葉県は、この制度を実施しておりませんので、今後要望して参ります。

防災計画の見直し

議員 今回の台風による甚大な被害により、公共施設、家屋の罹災、農産物被害、また、停電による住民の日常生活や農畜産業、観光、商工業に多大な経済損失があります。

今後の課題が数々明確になり、具体的な対策の意向を伺います。

今回の災害を教訓

町長 東電、県との連携体制の不備で、住民の皆様には混乱を招きました。

また、倒木による停電原因も多々ありました。様々な反省をしながら、また鋭意努力をしておりますので、ご理解頂ければと思います。

自主防災組織の状況は

市川 隆子 議員

議員 昨年9月の台風15号を始めとして、3つの台風で甚大な被害に見舞われました。

被害を拡大させないためにも、行政が責任を果たすよう取り組みなければなりません。

今後は想定外の災害も起こる可能性が大きく、いざ災害というとき、地域ごとに状況は違うので、日ごろから防災意識を持つ必要があるのではないのでしょうか。

そこで役割を果たすが自主防災組織だと思いますが、現在の状況について伺います。

連絡協議会に期待

町長 自主防災組織の組織化は、32自治区のうち11で35%、決して高い数値とはいえない実態です。今年度は、防災防犯指導員による連絡協議会を組

織し、指導員自らリーダーシップを発揮していただき、組織ができていく場合は、活動内容の強化を図っていく。組織がない場合には、補助金等の活用で自主防災組織の立ち上げをお願いします。

災害時と後の対応は

議員 台風や豪雨で防災行政無線の音が聞き取れない、日中独居で避難所が遠く避難できなかつた、などの声がありました。

また、家屋や農業施設、農産物、倒木、停電など大きな被害があり、これらの後始末と停電による不自由な生活が続きました。それぞれの災害時と後に町ではどのような対応をしたのか伺います。

個人所有の民地内での対応に苦慮

町長 行政は住民と地域の皆さんの安全を考えたければなりません。特に要支援者への対応は、行政だけでは限界があるので、地域の方々にも協力をお願いします。高齢者が避難できるよう、より多くのホテルに協力いただけるよう協議をすすめます。

災害後は、関係各課で被害状況を調査していますが、苦慮するのが、個人所有の民地内での対応です。方策を考えても解決しないことも多いので、国・県にも法整備等を考えてほしいと思っています。

国の補助制度活用し乗り合いタクシー実施を

議員 国は交通政策基本法で、日常生活を営むに当たって、必要不可欠な交通手段の確保、その他

必要な施策を講じるとして、デマンド交通、乗り合いタクシーを2013年度の313市町村から、2020年度には700市町村に導入することを目標として、各自治体の赤字分の2分の1を補助するとしています。

こうした国の補助制度を活用して、乗り合いタクシーを走らせる考えがないか伺います。

町では考えていない

町長 実施している自治体も、試験的に走らせた結果、終わりにするところも結構あるので、今のところ本町では考えていません。

国保税子どもの均等割減免を

議員 国保税は、前年の所得に保険税率を掛ける所得割と、家族の人数に応じてかかる均等割、世帯に定額でかかる平等割の合計で算出されます。家族の人数に応じて保

険税を課す均等割は、低所得世帯には一定の減額がありますが、子どもが多いほど国保税が引き上がります。

今、全国25の自治体で子どもの均等割減免を実施しています。

負担の大きい国保税の子どもの均等割減免を実施する考えはないか伺います。

負担は必要

町長 子育て支援になるかもしれませんが、相應の負担はしていただかないと運営ができません。

また、今の制度で減免した場合は、他の皆さんに負担がかかってくるので、理解を得られない部分もあります。



各常任委員会構成決まる



齋藤 鉄也
厚生文教常任委員
産業建設常任委員



大多和 秀一
厚生文教常任委員
産業建設常任委員



市川 隆子
総務常任委員
厚生文教常任委員会
副委員長



宗島 理仁
第38代副議長
総務常任委員
厚生文教常任委員



酒井 良信
第37代議長
総務常任委員



東海林 東治
厚生文教常任委員
産業建設常任委員



今関 勝巳
総務常任委員
厚生文教常任委員



齊藤 豊彦
総務常任委員
産業建設常任委員



板倉 正道
厚生文教常任委員会
委員長



大多和 正之
厚生文教常任委員
産業建設常任委員



今井 滋則
総務常任委員
産業建設常任委員会
副委員長



大多和 正夫
総務常任委員会
副委員長
産業建設常任委員



北田 百人
産業建設常任委員会
委員長



石井 和芳
総務常任委員会
委員長

■ 議会広報編集委員会
委員長 石井 和芳
副委員長 北田 百人
委員 市川 隆子
委員 東海林 東治
委員 宗島 理仁
委員 大多和 正夫
委員 今井 滋則

■ 監査委員
今関 勝巳
■ 千葉県後期高齢者医療
広域連合議会議員
東海林 東治

■ 一宮聖苑組合議会議員
齋藤 鉄也
■ 長生郡市広域市町
村圏組合議会議員
酒井 良信
大多和 正之

■ 議会運営委員会
委員長 齋藤 鉄也
副委員長 大多和 正之
委員 大多和 秀一
委員 板倉 正道
委員 齊藤 豊彦
委員 今関 勝巳

補正予算等に
対する質疑応答

専決処分事項の承認を
求めることについて

令和元年度白子町一般
会計第3回歳入歳出補
正予算について

承認第1号

【大多和秀一 議員】

議員 相次ぐ台風の襲
来により甚大な被害を
受け、その復旧に緊急
を要した事業のため、
大変な苦勞をしたと思
いますが、取り急ぐ中
で、施業者の選定は
どのような行われて
いったのか伺います。

町長 最も大きな事業
は、白濁小学校の屋上
の防水シート等でした
が、その他にも多くの
被災がありました。い
ろいろな事業者の選択
方法がありましたが、
基本的には以前施行し
ていただいた業者から
見積りを取り、適正価

格であればその業者に
お願いして、なるべく
早く復旧させる方法を
取りました。

令和元年度白子町一般
会計第4回歳入歳出補
正予算について

議案第2号

【宗島理仁 議員】

議員 公有財産購入費
1千2百万円の補正で
すが、国との契約の時
期及び引き渡しの時
期がいつごろになるの
かを伺います。

購入後、労災リハビ
リテーションを利用し
たいという事業者側の
具体的な提案の受付を
いつごろ始める予定な
のか伺います。

総務課長 既に契約を
し、用地の購入につい
ては、今回の補正予算
が終了した後、支出す
る予定です。

その後、プロポー
ザルでどんな活用方法
があるか提案をしても

らうという形で進めて
いきたいと思います。

【齋藤鉄也 議員】

議員 労災リハビリ跡
地の購入費で1千2百
万円の計上があります
が、建物解体費用等の
積算はどのようにされ
たのか。

また、この土地は何
の目的で購入するの
かを伺います。

町長 積算は国で行っ
ており、今回の予算金
額も国から示されたも
のです。

購入の目的は、町が自
由に使用する為ですが、
具体的な使い方はこれ
から考えていきます。

議員 使い方の計画も
なく土地を購入しては、
塩漬けになってしま
うのではと心配になる。

今後、この土地の利
用について、いつまで
にどのような計画を立
て実行していくのか、
見解を伺います。

町長 いつまでとは言
えませんが、今後、こ
の土地の利用に關し、
色々な意見・提案を聞
き、一番町の活性化に
繋がるものを選びたい
と思っております。

【東海林東治 議員】

議員 労災リハビリ跡
地の年内引き渡し、決
済ですが、今後の活用
と購入目的を明確にし
た上での決済なのか、
方向性が不明であれば、
即急に専門家、議会も
含めての委員会を立ち
上げ、具体的に審議す
べきと思いますが意向
を伺います。

また、白濁小学校の
補修工事の設計委託料
1千5百71万円の補正
予算が組まれていま
すが、新築の設計料で
なく、リフォームにこ
の予算額は理解できま
せん。競争入札実行の
上かを伺います。

町長 労災リハビリ跡
地は、今後、有識者等

の協力を頂き、協議の
場を作って参ります。

教育長 白濁小学校大
規模改修については、
あくまで工事金額を見極
める為の設計委託料で
あり、おおよそ校舎が
7千万円、体育館が1億
6千万円の見込みの元で
の設計委託料を計上さ
せていただきました。

【大多和正之 議員】

議員 観光振興事業補
助金1千万円の内容と、
残る年度内で予算を執
行できる見込みがある
か伺います。

商工観光課長 宿泊者
の減少に対する支援で、
1人当たり千円の割引
で1万人分を想定して
います。

補助金ですので、執
行に対する補助という
形になります。実績に
応じて、あくまで1人
千円の補助ということ
になっています。

議員 宿泊数減少の支援でしたら、1人千円といわずに、倍の2千円の方が効果があると思います。見解を伺います。

商工観光課長 温泉ホテル組合と協議して、千円で効果が十分あるということでしたので、千円に決定しました。

【市川隆子 議員】

議員 マイナンバー用機器購入費の内容と、カードの進捗率を伺います。

総務課長 マイナンバー用機器購入費については、申請用のものです。

また、カードの発行件数は人口の10%くらいだと思います。

議員 子ども・子育て会議の年間開催日数は何日くらいか伺います。

また、実施状況と今後の計画にどのように

生かされていくのか伺います。

住民課長 例年は2回ですが、今年度は事業計画の策定があるので1回多くなっています。

また、実施状況は、中間年に各課に依頼し進捗状況を把握して、どのくらいの実施状況なのかを確認したうえで、次期の計画を策定する予定です。

【大和多秀一 議員】

議員 農業振興事業の関連で、今回の台風による被災により現在113経営体がこの事業にかかわるということですが、施工業者の関係で未だ見積書の提出ができていない経営体もあると聞いています。申し込み期限はいつ頃までなのか、また、将来を見据えて施設の強靱化を希望する経営体もあるようです。

これらの対応について伺います。

産業課長 相次ぐ台風と大雨により、被災された経営体の増加により、事業の締め切りが延長されています。国・県との協議により令和元年度末までと想定しています。

強靱化については、この事業では対応できないことになっていきます。原型復旧が原則であり、強靱化をはかる場合は自己負担となりますが、国・県の別の事業での対応は可能だと考えています。

周知については、実行組合や生産組織へ行なっているところです。

【石井和芳 議員】

議員 先ほどの白濁小学校の改修工事の設計料として、1千5百71万円の業務委託料は、改修工事の総額2億数千円からしても異常に高いと感じます。今後の小学校の新入児童数は3校合わせて50人を切る状況で、近々に

統合せざるを得ない状況です。

そのような状況下で2億数千円の補修をするのはいかがなものかと思いますが、見解を伺います。

町長 今の状況では早く直してやりたいと思うのが優先します。金額については、リフォームは建てるよりお金がかかりません。

議員 3小学校は統合の方向と思います。白濁小の改修は必要最小限にすべきです。また、公共施設等の管理計画を早期に策定してください。

【同意第1号】
白子町監査委員の選任につき同意を求めることについて (同意)

氏名 今関 勝巳
住所 古所1786

【承認第1号】
令和元年度白子町一般会計第3回歳入歳出補正予算の専決処分事項の承認を求めることについて (承認)

【議案第1号】
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について (可決)

【議案第2号】
令和元年度白子町一般会計第4回歳入歳出補正予算について (可決)

※その他は、広報しらかこ1月号をご覧ください。



総務大臣感謝状・永年功労者表彰

総務大臣感謝状 (議員在職三十五年以上)

この感謝状は、総務大臣より、三十五年以上の永きにわたり地方自治の振興発展に寄与し、住民福祉の向上に尽くされた町村議会議員に対し、贈呈されるものです。

今井信夫前議員におかれましては、令和元年10月15日付けで贈呈されました。心からお祝い申し上げます。



永年功労者 (議員在職三十年以上)

この表彰は、全国町村議会議長会より、三十年以上の永きにわたり地域振興と地方自治の進展に尽力された功績により表彰されるものです。



今井信夫前議員におかれましては、令和元年11月13日付けで受賞されました。心からお祝い申し上げます。

今井 信夫 前議員

町議会を傍聴しましょう。

次の定例会は3月10日～13日の予定です。

詳しいことは議会事務局へ。TEL33-2169
白子の議会についてご意見、ご感想をお寄せ下さい。

編集後記

昨年11月20日をもって、安倍首相が「歴代最長」の首相になりました。桂太郎や伊藤博文、佐藤栄作を抜いての快挙であります。

桜を見る会、森友・加計問題もうやむやにしての快挙であり、一面立派なことであります。

長期政権に伴う利権構造がびこり、忖度政治が横行します。また、地方においても多選・長期政権を誇る首長も多くいます。長期に君臨し続けた首長が、優れた為政者ではなかった例は枚挙にいとまがありません。

選挙における有権者の「熱意」の低さと政治に対する失望の裏返しではないかと思われれます。

石井 和芳